

NEWS LETTER

2026年2月19日（木） 株式会社ぐるなび（コード番号2440 東証スタンダード）

食でつなぐ。人を満たす。



ホワイトデーは、甘くない。築地で味わう、お米が主役の2日間

「おにぎりの具材めぐり～日本酒・米粉グルメ・牡蠣で楽しむホワイトデー～」を開催

—「おコメ食べて笑おうプロジェクト」事務局として国産米の魅力を発信！—

株式会社ぐるなび（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：杉原章郎、以下ぐるなび）は、「おコメ食べて笑おうプロジェクト」の一環として、2026年3月13日（金）・14日（土）の2日間、築地場外市場にて国産米の魅力を五感で体感できるイベント「おにぎりの具材めぐり～お米が主役！日本酒・米粉グルメ・牡蠣で楽しむホワイトデー～」を開催します。

本イベントは、築地場外市場を回遊しながら、おにぎりやおにぎりの具材、日本酒、米粉グルメ、全国牡蠣-1グランプリ受賞牡蠣などを楽しめる、一般消費者向けの参加型イベントです。来場者一人ひとりがおにぎりやおにぎりの具材を選び、食べ比べ、自分好みの一品を見つける体験を通じて、日本の食文化の奥深さを感じていただき、お米を主役にした新しいホワイトデーの楽しみ方を提案します。

ぐるなびは、「食でつなぐ。人を満たす。」という存在意義（PURPOSE）や「日本の食文化を守り育てる」という創業からつなぐ想い（SPIRIT）のもと、事業を推進しています。本イベントを通じて、日本の食文化の再発見と新たな価値創造を目指し、豊かな食の未来につないでまいります。



■イベント開催の背景

日本では、長期的に米の消費量が減少傾向にあり、生産現場では担い手不足や地域の衰退といった課題が続いている。一方で、私たちの食卓に欠かせないお米は、日常に溶け込みすぎているがゆえに、その価値や背景に目を向ける機会が少なくなっています。

本イベントは、身近な「おにぎり」を切り口に、国産米の美味しさや多様性を体験的に伝えることで、消費者とお米、生産地との距離を縮めることを目的としています。

築地という日本を象徴する食の集積地を舞台に、楽しみながら食の背景に思いを巡らせる機会を創出します。

<本件に関する報道機関からのお問い合わせ先>

株式会社ぐるなび 広報グループ MAIL:pr@gnavi.co.jp

NEWS LETTER

2026年2月19日（木） 株式会社ぐるなび（コード番号2440 東証スタンダード）

食でつなぐ。人を満たす。



■イベント概要

- ・イベント名
おにぎりの具材めぐり～お米が主役！日本酒・米粉グルメ・牡蠣で楽しむホワイトデー～
- ・開催日時
2026年3月13日（金）10:00～14:00
2026年3月14日（土）9:00～14:00
- ・開催場所
築地場外市場、築地魚河岸（魚河岸スタジオ・屋上BBQ広場）
- ・主催
おコメ食べて笑おうプロジェクト※企業・自治体・大学など複数主体が連携して実施
- ・公式ホームページ
<https://ricesmile.jp/>
- ・参加費
無料 ※物販・飲食除く
- ・対象
一般消費者

■イベントの見どころ

① 築地を回遊しながら楽しむ「おにぎりの具材めぐり」

来場者は、イベント専用マップを手に築地場外市場を回遊し、イベント限定のおにぎりや、おにぎりに合う多彩な具材を選んで購入・実食します。

海鮮、佃煮、築地ならではの食材など、選択肢の多さも魅力で、「どれを選ぶか迷う時間」そのものが楽しさにつながる体験です。

② 米と相性の良い国産食材を一度に楽しむ

会場では、日本酒、米粉グルメ、全国牡蠣-1グランプリ受賞牡蠣の試食など、米と相性の良い国産食材を組み合わせた企画を展開します。

炊き立てご飯や焼き牡蠣、日本酒を味わうシーンなど、視覚的にも楽しめる構成となっています。

③ 参加型の仕掛けで記憶に残る体験を

お米の食べ比べ企画や、「BEST1おにぎりの具材」を決める投票企画を実施します。

来場者の「美味しい」「これが好き」という率直な声が集まり、イベント体験を一過性で終わらせず、日常の食選択へつなげます。

■おコメ食べて笑おうプロジェクト

「おコメ食べて笑おうプロジェクト」は、日本の主食であるおコメを起点に、日本の未来の食、農業、地域社会の在り方にについて考え、行動することを目的として2022年に設立された非営利プロジェクトです。企業・自治体・大学など多様な主体が連携し、イベントや啓発活動を通じて、国産米の価値や日本の食文化の魅力を次世代へ伝える取り組みを継続的に行っています。

（プロジェクト参画団体：全国農業協同組合連合会／株式会社ぐるなび／株式会社エヌケービー／NTT東日本株式会社／特定非営利活動法人築地食のまちづくり協議会／公益社団法人ふるさと回帰・移住交流推進機構／日本航空株式会社／株式会社農協観光／学校法人東京農業大学／新潟県／株式会社アサヒパック／株式会社RICE MORE／株式会社エフエム東京／株式会社エフエム大阪／株式会社エフエム愛知／株式会社JTB／kurkku alternative／西日本旅客鉄道株式会社ほか ※順不同）

